

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『アントキノイノチ』	○	○	○		
『RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ』	○	○	○		

■ 映画プログラム ■

- |                            |                               |
|----------------------------|-------------------------------|
| 『マネーボール』                   | 『シネマ落語 落語研究会 昭和の名人 参』         |
| 『コンテイジョン』                  | 『ラブ・アゲイン』 『アーサー・クリスマスの大冒険』    |
| 『ハッピーフィート2 踊るペンギンレスキュー隊』   | 『ウィンターズ・ボーン』                  |
| 『ゲートの恋 ～君に捧ぐ「若きウエルテルの悩み」～』 | 『ステキな金縛り』                     |
| 『ミッション：8ミニッツ』              | 『リアル・スティール』 『ラビット・ホール』        |
| 『インモータルズ ー神々の戦いー』          | 『50/50 フィフティ・フィフティ』           |
| 『新少林寺／SHAOLIN』             | 『映画 怪物くん』 『タンタンの冒険／ユニコーン号の秘密』 |
| 『カイジ2～人生奪回ゲーム～』            | 『三銃士／王妃の首飾りとダ・ヴィンチの飛行船』       |

■ 書籍 ■

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 『世界名作シネマ全集15 ジャパニーズ・ホラーの傑作』    | 角川書店                   |
| 『アウトレイジ オフィシャルガイド』             | 日経BP社                  |
| 『浅草六区興行史 新装改訂版』                | 台東区下町風俗資料館 (編)         |
| 『小沢昭一的新宿末廣亭十夜』                 | 小沢昭一 (著)               |
| 『神様ありがとうございます。今日も元気!』          | 川津祐介 (著)               |
| 『栗原克規のあしあと』                    | 栗原克規 (著)               |
| 『芸のこころ』                        | 坂東三津五郎 - 8世 + 安藤鶴夫 (著) |
| 『恋するジュエリ スターが愛した宝石たち』          | 岩田裕子 (著)               |
| 『後期高齢者映画を語る』                   | 成田豊 (著)                |
| 『胡蝶奮戦 スターたちと過ごした日々』            | 高千穂ひずる (著)             |
| 『昭和シネマ館 黄金期スクリーンの光芒』           | 木田順一郎 (著)              |
| 『なりきり映画考 日本映画人ダイアリー』           | 矢野寛治 (著)               |
| 『日韓アニメーションの心理分析 出会い・交わり・閉じこもり』 | 横田正夫 (著)               |
|                                | 台東区下町風俗資料館             |
|                                | 講談社                    |
|                                | 三宝出版                   |
|                                | 私家版                    |
|                                | 三月書房                   |
|                                | 河出書房新社                 |
|                                | 文芸社                    |
|                                | エコー・セザム                |
|                                | 小学館                    |
|                                | 書肆侃侃房                  |
|                                | 臨川書店                   |

(新規登録資料案内 続き)

■ 松竹系 11月公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター	
新橋演舞場	『傾城反魂香』	○	○	○	○	
	『道行初音旅 吉野山』		○			
	『新皿屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』	○	○			
	『歌舞伎十八番の内 外郎売』	○	○			
	『京鹿子娘道成寺 道行より鐘入りまで』	○	○			
	『梅雨小袖昔八丈 髪結新三』	○	○			
	第241回子供歌舞伎教室					○
	舟木一夫シアターコンサート					○
平成中村座	『双蝶々曲輪日記 角力場』	○		○	○	
	『お祭り』					
	『義経千本桜 渡海屋・大物浦』	○				
	『猿若江戸の初櫓』	○				
	『伊賀越道中双六 沼津』	○				
『弁天娘女男白浪 浜松屋より勢揃いまで』	○					
ル テアトル銀座	『アマデウス』			○	○	
南座(京都)	桂南光還暦記念公演			○	○	
	『隠蔽捜査』	○		○	○	
	中村美律子オンステージ				○	
	舟木一夫シアターコンサート			○	○	
松竹座(大阪)	『船場の子守唄』			○	○	
	『大当り高津の富くじ』					
博多座	『歌舞伎十八番の内 外郎売』	○		○	○	
	『澤瀉十種の内 連獅子』					
	『与話情浮名横櫓 見染・源氏店』	○				
	『芦屋道満大内鑑 葛の葉』	○				
	『歌舞伎十八番の内 勸進帳』					
『楊貴妃』	○					
永楽館	『双蝶々曲輪日記 引窓』	○		○		
	『お目見得口上』					
	『茶壺』	○				
大塚国際美術館	『GOEMON石川五右衛門』	○		○		
八千代座(熊本)	『お目見得口上』			○		
	『春夏秋冬』	○				
地方巡業	『験の母』	○		○		
	『お祭り』	○				
地方巡業(学校巡業)	『歌舞伎の世界で遊ぼう』			○		
	『勸進帳』より「滝流し」					
	『雨の五郎』					
	『鷺娘』					

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

■ 他社公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	10月	『引き際』プログラム、台本 『ヘビーゲージ』プログラム、台本
	11月	『おしるし』プログラム
NHKホール	10月	『第38回NHK古典芸能鑑賞会』プログラム
大阪新歌舞伎座	10月	『北島三郎特別公演』プログラム
唐組特設テント	10月	『西陽荘』プログラム、台本
吉祥寺シアター	10月	『エレジー 父の夢は舞う』プログラム
紀伊國屋ホール	10月	『カミサマの恋』プログラム、台本
	11月	『岸田國士傑作短編集』プログラム、台本
国立劇場小劇場	10月	『文楽素浄瑠璃の会』プログラム
	11月	『津軽三味線を聴く 時代を越えた音色』プログラム
国立劇場大劇場	11月	『日本振袖始』『曾根崎心中』プログラム、台本 『映像でたどる国立劇場の歌舞伎その1』プログラム
国立文楽劇場	10月	『東西名流舞踊鑑賞会』プログラム
サンシャイン劇場	10月	『中野ブロンディーズ』ポスター
	11月	『トラベルモード』ポスター
theatre iwato	10月	『窓ぎわのセロ弾きのゴーシュ』プログラム、台本
シアタークリエ	10月	『ピアフ』プログラム
	11月	『ヴィラ・グランデ青山 振り返りの日曜日』プログラム
シアターサンモール	10月	『世界の終わりと始まりと』プログラム
シアタートラム	10月	『ひとよ One Night』プログラム
渋谷区文化総合センター大和田さくらホール	10月	『ジンギスカン わが剣、熱砂を染めよ』プログラム、台本
渋谷区文化総合センター大和田伝承ホール	11月	『乱歩・白日夢 人形と写し絵による』プログラム
新国立劇場小劇場	10月	『イロアセル』プログラム
新国立劇場中劇場	11月	『天守物語』プログラム
青年座劇場	10月	『切り子たちの秋』プログラム、台本
前進座劇場	10月	『明治おばけ暦』プログラム
帝国劇場	10月	『ニューヨークに行きたい!!』プログラム
俳優座劇場	10月	『同居人』プログラム、台本 『じゃじゃ馬ならし・夏の夜の夢』プログラム
HAKUJU HALL	10月	『舞踊劇サロメとヨカナーン』プログラム
博品館劇場	10月	『嵯峨美子コンサート「いつか森へ行こう」』プログラム 『Rhythm Land vol. 1 冒険』プログラム 『聖ひばり御殿』プログラム 『THE DEAD END』プログラム
パルコ劇場	10月	『猟銃』プログラム
御園座	11月	『松平健公演』プログラム
三越劇場(日本橋)	11月	『王将』プログラム、台本
明治座	11月	『出逢いに感謝…35年 川中美幸』プログラム
八千代座(熊本)	11月	『坂東玉三郎シアターコンサート』プログラム
ル テアトル銀座	10月	『思い出のカルテット』プログラム

(新規登録資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

『a a f通信』2011年11月(31号)

『あぜくら』平成23年11月号

『文楽通信かわら版』9号

『舞踊芸術』2011年11月号

『Confetti』2011年DECEMBER、2012年JANUARY

『伝統文化新聞』2011年(66号)

『演劇ぶっく』2011年11月号

〔《特集》表紙のヒト 市川亀治郎・蒼井優／『The SPOT』小林賢太郎／『鬪體城の七人』早乙女太一・勝地涼・栗根まこと いのうえひでのり／『DREAM BOYS』亀梨和也〕

『演劇界』2011年12月号

〔《特集》怪人武智鉄二と武智歌舞伎／追悼 七代目中村芝翫／歌舞伎名作案内『安政奇聞佃夜嵐』／渡辺保 型の秘奥／小山三一人語り 軍艦イルミネーション 《インタビュー》澤村藤十郎／中村歌六〕

『演劇界』2012年1月号

〔《特集》六代目尾上菊五郎／小山三ひとり語り 歌右衛門の手料理／歌舞伎名作案内『井伊大老』 《インタビュー》片岡孝太郎〕

『邦楽の友』平成23年12月号

『ほうおう』2012年1月号

〔《インタビュー》坂東三津五郎 《特集》新派四季暦『東京物語』成功祈願・製作発表は大盛り上がり！〕

『ジ・アトレ』2011年11月

『上方芸能』2011年12月(182号)〔《特集》いま 洒落の力を問う〕

『国立演芸場公演ガイド』平成23年12月号

『古てん』2011年11月14号

『メセナnote』2011年Winter 71号〔《特集》メセナアワード2011〕

『ミュージカル』2011年11月-12月号

〔《特集》『ニューヨークに行きたい！！』／ミュージカルが開幕するまで〕

『News Letter』2011年11月12号

『日本芸術文化振興会ニュース』平成23年12月号

『日本照明家協会雑誌』2011年11月号

〔《インタビュー》小高康太郎さんに聞く 《特集》舞台・テレビジョン照明のための公開講座のお知らせ／古を愛でる～芝居小屋から学ぼう／彩の国さいたま芸術劇場 改修工事について〕

『日本舞踊』63巻12月号

〔《特集》秘曲・新曲サロン 長唄 八月の傾城／舞踊写真教室 俣奏楽 雪の山中(下)〕

『OISTAT日本センターNEWS』2011. OCTOBER. Vol. 5

『大向う』平成23年12月号

『ラ・アルプ』2011年12月号

〔《特集》『美女と野獣』／『キャッツ』日本公演通算上演回数8000回、そして横浜公演2周年／『オペラ座の怪人』25周年記念特別企画 アンドリュー・ロイド＝ウェバーインタビュー〕

『SePT倶楽部 information』2011年11月号

『シアターガイド』2012年1月号

〔《特集》「90ミニッツ」三谷幸喜 西村雅彦&近藤芳正／「ロッキー・ホラー・ショー」古田新太&岡本健一 ROLLY いのうえひでのり／「その妹」市川亀治郎&蒼井優／ジュディ・デンチ〕

『テアトロ』2011年12月号

〔《特集》追悼 さようなら斎藤憐さん！／女性の一代記 《掲載戯曲》『背水の孤島』中津留章仁／『女優X』品川能正〕

■ 映画雑誌 ■

『アウラ』2011年206号

〔《特集》BS多チャンネル時代到来 《インタビュー》渡辺直美／堀北真希〕

『ドラマ』2011年12月号

〔《掲載シナリオ》『家政婦のミタ』1話、2話 遊川和彦／『「蝶々さん」最後の武士の娘 前編』市川森一 《特集》第36回創作テレビドラマ大賞受賞作発表〕

『映画テレビ技術』2011年12月号

〔《特集》「仁淀川～知らされる青の世界」撮影報告／映画『ブルーゲルの動く絵』レフ・マイェフスキ 監督インタビュー／気仙沼上映会／仙台311映画『明日』〕

『映画撮影』2011 Nov No. 191

〔《特集》撮影報告：『アントキノイノチ』『ツレがうつになりまして。』『恋の罪』『贖罪』『鎗金』『沈黙の春を生きて』〕

『映画時報』2011年11月号

〔《インタビュー》パラマウントジャパン、松本勲営業本部長、星野有香マーケティング本部長 《特集》2011年「ビデオレンタル店」実態調査／第24回「東京国際映画祭」総括／松竹・東宝の中間決算〕

『映画秘宝』2012年1月号

〔《特集》70年目の太平洋戦争映画／スクープ！世界初の『エクスペンダブルズ2』情報！／スピルバーグ『タンタンの冒険』〕

『映画論叢』2011年（28号）

〔《特集》やりっぱなしの人生【前篇】俳優・高宮敬二 自叙伝／北林透馬の映画世界 丸岡澄夫／日本ロボット映画創世記 藤元直樹 《インタビュー》小泉博〕

『映像+』2011 WINTER 12

〔《特集》[映画制作の現場]映画のつくりかた／映画の撮影所大特集 東宝、東映東京、東映京都、松竹、日活／現場密着「荒川アンダー ザ ブリッジ」ができるまで〕

『キネマ旬報』2011年11月下旬号

〔《特集》西島秀俊、エモーションに向かう／柴倉奈々「アントキノイノチ」／第68回ヴェネチア国際映画祭〕

『キネマ旬報』2011年12月上旬号

〔《特集》大野智「映画怪物くん」／スティーヴン・スピルバーグ「タンタンの冒険／ユニコーン号の秘密」／相米慎二、終わらないロングテイク／香港映画の逆襲！？／映画「けいおん！」山田尚子監督〕

『ムービー・スター』2012年1月号

〔《特集》クリス・コルフアー×ダレン・クリス『glee』／『M:I-4』トム・クルーズ／『マネーボール』ブラッド・ピット／『リアル・スティール』ヒュー・ジャックマン〕

『日経エンタテインメント!』2011年12月号

〔《特集》『けいおん』現象の〈解〉スタッフ・声優が語るブームの秘密／日本アニメ最新事情2011〕

『ロケーションジャパン』2011年12月号（48号）

〔《特集》大野智『映画怪物くん』／役所広司／三谷幸喜／絶対にはずさない日本全国うまいもの1177選／おいしい京都を歩く／浜松・三ヶ日〕

『SCREEN』2012年1月号

〔《特集》「ミッション：インポッシブル／ゴースト・プロトコル」／日本に帰ってきたBIGスターたち〕

『シナリオ』2012年1月号

〔《掲載シナリオ》『幕末太陽傳』田中啓一 川島雄三 今村昌平／『明日泣く』伊藤彰彦 内藤研 《インタビュー》長谷川康夫〕

『シナリオ教室』2011年12月号

〔《特集》2011シナリオ・オータムセミナーPart 1 《掲載シナリオ》『私が恋愛できない理由』第1話・第2話 坂口理子 山崎宇子 《インタビュー》坂口理子〕

『シネ・フロント』2011年11月号

〔《特集》創立35周年記念特集（2）女性監督たち／羽田澄子『遙かなるふるさと旅順・大連』／松井久子『レオニー』／坂田雅子『沈黙の春を生きて』／古居みずえ『ぼくたちは見た』〕

『松竹（社報）』2011年（166号）

## ● 所蔵資料展示案内 ●

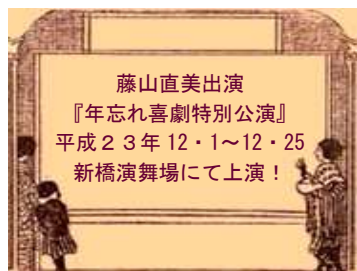
### 第17回 藤山直美展

展示期間:2011年11月25日~12月26日 於:松竹大谷図書館閲覧室

今月は女優・藤山直美に関する資料を展示致します。藤山直美は昭和33(1958)年、藤山寛美の三女に生まれ、幼少の頃NHKのドラマ『桂春団治』で父寛美との共演でデビューします。舞台デビューは昭和39年(1964)2月梅田コマ劇場上演の坂本九主演ミュージカル『見上げてごらん夜の星を』ですが、高校卒業までは主に学業に専念し、18歳で女優業を再開、テレビや舞台に年1、2回のペースで出演するようになります。昭和62年には新国劇が70年の歴史を閉じた最終公演において、『王将』坂田三吉役の緒方拳を相手に、娘の役を演じ話題になりました。平成2年(1990)5月、父・寛美が亡くなると、同年7月新橋演舞場の父の追悼公演より松竹新喜劇公演に参加するようになり、以降急速に舞台への出演が増えます。自身インタビューでも、「(父の死後が)本格的にデビュー」だと語っていますが(『芸団協ジャーナル』Vol. 18インタビュー)父の当り役を女に置きかえての



『顔』パンフレット1セット



新喜劇、ミュージカル、と様々な舞台に出演、多才振りがうかがえます。今回の展示では、限られたスペースの中で、出来るだけ多くの共演者との舞台の様子が伝わるような資料を展示してみました。また映画の資料では、平成12年(2000)の初主演作で、報知映画賞・キネマ旬報賞・毎日映画コンクール・ヨコハマ映画祭など数々の主演女優賞を獲得した『顔』の資料を展示いたします。当館ではこの『顔』のプログラムを所蔵していますが、付録が盛り沢山のちょっと変わったプログラムになっています。今回は付録のうち絵葉書だけを展示しますが、興味のある方はプログラム1セットを請求してご覧ください。

#### — 藤山直美 関連資料展示一覧 —

1. 『王将 料亭紅葉館の場』演劇スチール(昭和62年[1987]8月新橋演舞場)  
玉江(藤山直美)・坂田三吉(緒形拳)
2. 『さらば浅草パラダイス』演劇スチール(平成13年[2001]2月新橋演舞場)  
中原源吉(柄本明)・池島卯之助(5代目中村勘九郎=18代目中村勘三郎)・池島かつ(藤山直美)
3. 『はなのお六』演劇スチール(平成16年[2004]7月新橋演舞場)  
お六(藤山直美)・藩主有馬玄蕃頭(小島慶四郎)
4. 『夫婦善哉』演劇スチール(平成17年[2005]2月新橋演舞場)  
蝶子(藤山直美)・柳吉(沢田研二)
5. 『スーパー喜劇 狸御殿』演劇スチール(平成17年[2005]12月新橋演舞場)  
きぬた姫(藤山直美)・雅楽平(2代目市川猿弥)
6. 『丁稚の縁結び』演劇スチール(平成22年[2010]6月新橋演舞場)  
分家の丁稚由松(藤山直美)
7. 『喝采』2006年4月号(平成18年[2006]4月博多座公演特集)  
表紙:『はなのお六』お六(藤山直美)／記事:藤山直美インタビュー
8. 『喝采』2007年5月号(平成19年[2007]5月博多座公演特集)  
表紙:『桂春団治』おとき(藤山直美)・春団治(沢田研二)／記事:藤山直美の魅力
9. 『喝采』2011年4月号(平成23年[2011]4月博多座公演特集)  
表紙:『紺屋の恋女房』紺屋職人久造(前川清)・吉野太夫(藤山直美)  
記事:藤山直美の魅力、藤山直美笑いの世界
10. 『音楽喜劇 大阪から来た女』プログラム(平成13年[2001]11月大阪松竹座)  
春日林太郎(永島敏行)・大文字雪子(藤山直美)
11. 「なおみまつり」プログラム(平成20年[2008]11月大阪松竹座)
12. 『妻をめとらば~晶子と鉄幹~』プログラム(平成18年[2006]6月大阪新歌舞伎座)  
鉄幹(香川照之)・晶子(藤山直美)
13. 『顔』プログラム付録ハガキ(2000年公開、阪本順治監督作品)  
吉村正子(藤山直美)
14. 『キネマ旬報』2001年2月下旬決算特別号  
表紙:原田芳雄・藤山直美(『顔』により日本映画主演女優賞受賞)

## ■ ご寄贈いただきました ■

2011年10月28日

当館元理事の河竹登志夫様より、歌舞伎の海外公演の資料、ほかに演劇関連図書・雑誌など3箱分をご寄贈いただきました。河竹先生は松竹の主宰する歌舞伎の海外公演に、文芸顧問として参加された関係で、多くの海外公演の資料をお持ちでした。皆様に活用していただけるよう整理を進め、公開可能な資料につきましては随時一般公開してまいります。どうもありがとうございました。

2011年11月25日

劇書房様より、出版業務停止にともない社内保存されていた出版物と演劇資料を2箱分ご寄贈いただきました。当館で必要な図書51冊、演劇プログラム46冊、演劇台本3冊などを受入れました。長く保存し活用したいと存じます。どうもありがとうございました。

## 松竹大谷図書館短信



### ● 消防訓練が行われました ●



消火器を手に給湯室へ急ぐ



消火訓練の出番を待つ消火器



竹に向かって放水

11月17日に、当館が在るADK松竹スクエアビル全体の消防訓練が行われました。今回の訓練は震度7クラスの地震により、3階の給湯室から火災が発生したという想定の下で行われ、当館からも職員2名が参加しました。火元の給湯室は当館と同じフロアにあるため、火災報知器の警報が火元を知らせるや、ヘルメットを被って消火器を手に給湯室へ急行、現場で[火点]（紙が貼られたコーン）と、[煙]（ドライアイス）を確認し、「火事です！」と周りに大声で知らせて初期消火（の振り）を行いました。そして普段は施錠している非常口を開けて隣のフロアに抜け、非常通報電話で管理センターへ火元を連絡後、エレベーターは使用せずに大声で避難を呼びかけながら非常階段で避難しました。この非常口から非常階段のルートは、3月の大震災の折にエレベーターが使用出来なくなり、実際に利用者の方を誘導した避難経路です。

1階ロビーの集合場所で無事避難の報告を済ませた後は、消火器でビルの前庭の竹に向かって放水する消火訓練を行いました。また、交代で起震車に乗り、震度7の揺れを体験しました。我々2名は他の会社のヘルメット持参の方2名と共に指名され、「揺れ始めたらずぐにヘルメットを被り机の下に避難する」という設定で体験をしましたが、激しい揺れの中ではヘルメットを被るのも容易ではありませんでした。揺れが治まるとリーダー役の「全員無事ですか？」という確認に対し、「無事です！怪我はありません！」と大きな声で応答しましたが、このように逐次状況を必ず周囲に伝える事が、非常時においては大変重要であると、消防署の方も話しておられました。当館では、利用者の方と職員の安全を常に確認しながら行動する事を想定しておかねばならず、改めて非常時における避難行動について考えさせられた訓練でした。



震度7体験中

## 休館のお知らせ

2011年12月27日(火)より  
2012年 1月 9日(月)まで  
年末年始休館とさせていただきます

2012年1月10日(火)より  
通常どおり開館いたします

